

課題名	新たな農業従事者の確保～やってみよう中丹農業～	人づくり	中丹東・中丹西農業改良普及センター
(1)普及指導事項（評価対象） ①雇用が必要な経営体の支援		(2)普及指導対象 認定新規就農者、認定農業者、農業法人、集落営農組織、農業士、多様な人材	
(3)活動内容と成果			
(1)「農家情報シート」の作成と活用を支援 ・ 中丹管内の23戸の農業経営体等が「農家情報シート」を作成・活用し、研修会や就農相談会において、経営内容等の情報発信を積極的に行った。 (2)農業の魅力を体験する研修会及び就農相談会を開催 ・ 多様な人材を対象に、収穫などの農作業を体験する研修会を計4回開催したところ延べ26名の参加者があり、うち2名は実際に農業経営体での短期間のアルバイト雇用につながった。 ・ 農業分野での担い手の確保に向け、中丹地域での就農を考えている多様な人材と農業経営体との橋渡しを行う「就農相談会 in 中丹」を開催したところ、17名の参加があり、うち6名は、中丹地域での就農に向けて、今後も相談を継続する意向があった。 ・ 雇用の経験が乏しい農業経営体等に対して、令和7年1月24日に「働きやすい職場づくり研修会」を実施した。			
(4)コメント		(5)普及指導計画への反映状況、今後の活動等	
<要約> 都市部と比べ過疎高齢化が深刻な中丹地域において、担い手確保に向けた積極的な取組だと考える。就農相談会や農業の魅力体験研修会などが実際の雇用の確保につながっていることは高く評価できる。特に、農家情報シートは農業者の広報・発信ツールであるとともに、農業者自身の農業を振り返るためのツールともなっており素晴らしい取組。 今後は、就農希望者確保から、雇用就農による経験を経て、自営農業者へと至る流れが持続的なものとなるよう、仕事探しをする幅広い人に目に触れる取組や民間企業との連携、就農後の研修・伴走支援など、各段階での対策を検討いただきたい。		- 農家情報シートを普及センター内ホームページにアップロードするとともに、SNSを活用して就農希望者に情報が届く環境づくりを行います。 - 就農相談会の情報が移住希望者にも届くよう、不動産業者等にも案内チラシの配架を依頼します。 - 個人の就農希望者だけでなく、企業参入希望があれば対応できるように受入側の情報を日ごろから収集します。 - 前年度の参加者へのアフターフォローを行い、就農されていない場合は就農意欲を継続できるように、今年度の農業の魅力体験研修会などの行事への参加を呼びかけます。	